

伊勢崎市立坂東小学校 学校教育方針 ～オレンジプラン～

※坂東小学校は、開校時から校舎のアクセントカラーにオレンジ色が使われている。また、校庭には柑橘系の樹木があり、オレンジ色の果実をたくさん実らせる。これらのことから、「オレンジ」は、学校を象徴するキーワードとなっている。そのため、学校教育方針を「オレンジプラン」と名付けた。

<p style="text-align: center;">群馬県教育振興基本計画（第4期）</p> <p>【最上位目標】 自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向け 一人ひとりエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成</p>		<p style="text-align: center;">伊勢崎市の学校教育が目指す子供の姿</p> <p>夢と希望をもって自律的に学び、 共生社会の担い手として 心豊かにたくましく成長する子供</p>
--	--	--



<p>《学校教育目標》</p> <p>すすんで学び 思いやりのある たくましい子供 〔目指す児童像〕 仲間とともに自分を高める子</p>

〈知〉すすんで学ぶ子供	〈徳〉思いやりのある子供	〈体〉たくましい子供
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本をしっかりと身に付けた子供 ○自分から学習に取り組み、最後まで粘り強く学ぶ子供 ○よく聞き、自分の考えをもって交流し、深め合う子供 	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちのよいあいさつや返事ができる子供 ○相手の立場に立って物事が考えられる子供 ○責任感があり、全体に貢献しようとする子供 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に気を配り、自分の命を自分で守ろうとする子供 ○早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付け、健康的な生活を送る子供 ○元気に遊び、進んで体を鍛え、目標に向かって繰り返し挑戦する子供



<p>「すすんで学ぶ子供」の育成のために</p>	<p>「思いやりのある子供」の育成のために</p>	<p>「たくましい子供」の育成のために</p>
--------------------------	---------------------------	-------------------------

具体的な取組～オレンジプロジェクト～

<ul style="list-style-type: none"> ①「学ぶ楽しさ」「分かった」「できた」を実感させる授業づくりによる基礎・基本の定着 ②ICT機器活用による個別最適化された学習の実現 ③「坂東小スタイル」を基本とする主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり ④学習習慣・学習規律の確立 ⑤思考力・判断力・表現力の育成 ⑥専科指導や少人数指導によるきめ細かな指導の充実 ⑦個々のニーズに応じた教育支援と自立支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①「あいさつ・返事」ができ、場をわきまえた行動がとれる子供の育成 ②いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期対応の徹底 ③自分の居場所、一人一役、活躍する場面がある学級・学年づくり ④道徳実践力を育てる道徳教育の充実 ⑤キャリアパスポート等を活用した、よりよい生き方を考えるキャリア教育の充実 ⑥子供の主体性を育む特別活動の充実と教育課程の工夫・改善 ⑦日本語指導を必要とする子供への指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①防災・安全教育の充実による「自分の命は自分で守る」力の定着 ②早寝・早起き・朝ごはんの習慣定着のための継続的な指導 ③体力向上プランに基づく教科体育や体育的行事の充実 ④学校生活相談員やスクールカウンセラーとの連携による個別支援や教育相談の充実 ⑤安心・安全で、美しく整った学校環境づくり ⑥自分なりの目標をもち、最後まで諦めずに、粘り強く取り組む子供の育成 ⑦給食センターや栄養士と連携した食育の充実
--	---	--

具体的な取組を支える企画部会の設営

<p>《学力向上部会》</p>	<p>《生徒指導部会》</p>	<p>《健康増進部会》</p>
<p>☆よりよい学びの在り方について提言を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学級づくり⇔授業づくり」の推進、hyper-QUの活用 ○学習指導要領の学力観に沿った学習指導の推進や情報提供 ○各種学力テストの分析と指導の手立ての考察 <p>※研修推進委員会との連携</p>	<p>☆よりよい学校生活の在り方について提言を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「坂東小 よい子の約束」の定期的な見直しと、それに基づく同一歩調での生徒指導の推進 ○校内、校外における問題行動等に関する情報収集及び情報共有と協力的・組織的対応についての検討 ○特別支援教育コーディネーターや養護教諭との連携体制の構築 <p>※校内教育支援委員会との連携</p>	<p>☆よりよい心身の成長の手立てについて提言を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康増進、各種災害に対応する安全教育、防災教育等の推進 ○感染症予防のための注意喚起と環境整備 ○体力向上、健康増進のための方策の企画 <p>※学校保健委員会との連携</p>



子供・保護者との信頼関係づくり	伊勢崎学府制による地域と連携・協働したひとづくり
<ul style="list-style-type: none"> ○温かな子供の居場所としての学級・学年・学校づくり ○「学ぶ楽しさ」「分かった」「できた」を実感できる授業づくり ○連絡帳や電話等による連絡、面談等を通じた家庭との協力関係づくり ○学校通信や各種懇談会等を活用した、学校としての考えや方針の共通理解を図る情報発信 ○学校Webページを活用した、子供たちの学校での様子や活躍等を伝えるタイムリーな情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育力（保護者・学校評議員・民生児童委員・公民館・放課後子供教室・老人会パトロール・警察等）との積極的な連携 ○学校Webページの充実、授業公開等による積極的な学校情報の発信 ○第四中校区学校（坂東小・豊受小・四中）の連携推進及び協力態勢づくり（校区校長会議の定期実施、日常的な情報交換、行事等での交流促進と活性化、キャリアパスポートの引き継ぎ等） ○学校評価、学校外部関係者評価を活かしたPCDAサイクルによる学校運営 ○外国籍家庭への積極的な働きかけ（翻訳メールや翻訳通知等の充実や伝達方法の工夫、目的を明確にした外国籍保護者会等の実施等）
「認め合い感・支え合い感・安心感」がある働きやすく温かな職場づくりを目指して	
<p> 「のりしろの心」で協働する組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の分掌等の役割を果たすとともに、周囲に気を配り、互いにサポートし合える組織 ○職場でのマナーを共有し、誰もが気持ちよく働けるように、思いやりをもって関わり合うことができる組織 ○価値観の違いを認め、互いに尊重し合うことができる組織 	<p> 「報告・連絡・相談」そして「雑談」の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな些細なことでも、気になったり違和感を感じたりした場合には、必ず周囲へ報告・連絡・相談 ○個人や学年で悩みを抱え込まず、不安要素が少しでもあれば、必ず管理職へ報告・連絡・相談 ○ゆとりと遊びがあり、普段から立場を超えて談笑したり、悩みを共有したりできる空気感の醸成
<p> 「ワーク・ライフ・バランス」を考えた働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文部科学省「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に沿った業務内容の見直しと働き方の工夫 ○学校通信や学校Webページを活用した家庭や地域への「なぜ働き方改革を行うのか」の周知 ○教職員全体で業務改善のアイデアを出し合う場面の設定、運営委員会や職員会議での協議による方針や取組の確立 ○ICTを活用した働き方改革の推進 	<p> 「服務規律確保計画」に基づいた服務事故や不祥事に対する意識啓発及びリスクマネジメント力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不祥事の未然防止及び正しい認識・理解のための効果的な服務研修の実施 ○教員の不祥事に関する新聞記事等の共有と自分事としての振り返りの実施 ○「服務規律確保に関わるチェックリスト」の定期的な実施と自己評価による意識付け ○仕事面だけでなく、校外での生活についても相談し合える信頼関係の構築
期待する教師像	
<p>○常に「子供たちのために・・・」というスタンスで考え、行動できる教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全を大切に、自分の命は自分で守る子供たちを育成することができる教師 ○子供たちに学びの楽しさ、面白さを伝え、学習意欲を高めることができる教師 ○「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」子供たちを育成することができる教師 ○一人一人のよさや可能性を見つけ、それを伸ばすことができる教師 ○子供たちの微妙な変化に気づき、愛情と包容力をもって寄り添うことができる教師 ○自分自身が夢や目標をもち、生き生きと職務に取り組む教師 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちの前では、いつも明るく元気な教師 ○広い視野をもち、様々な角度から物事や子供たちを見ることができる教師 ○向上心があり、全ての人から学ぼうとする姿勢がある教師 ○自分の言葉で自分の思いを伝えることができる教師 ○柔軟な発想力をもち、創意工夫をしながらよりよい方法を見つけていこうとする教師 ○多文化共生社会の到来を見据え、多様性を認め合い、他者と進んで関わる子供たちを育成できる教師 ○組織を大切に、周囲の教職員と協力、連携して職務にあたることのできる教師